

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 06 06	中期総合計画主要施策番号		3-03	部・課		社会部こども・家庭福祉課	
事業名		社会福祉施設等整備事業(児童養護施設等)				内線		2354	
						E-mail		kodomo-katei@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・児童養護施設等の施設整備に助成することにより、施設の老朽・狭隘状態の解消、小規模ケア化の推進による入所児童の居住環境の向上を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		・県内児童養護施設等は、昭和40年代～50年代に建築された施設が多く、老朽化・狭隘化が著しいが、施設整備が進んでいない。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
	・児童養護施設等が施設整備を行うにあたっての財政的な裏付けが不足している。 ・各施設の整備意向の把握と将来的な整備計画が作成されていない。								
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]							
	・各施設の整備意向の把握により、将来的な整備計画の作成と計画に沿った財政的な裏付け(施設整備補助)を行う必要がある。								
	事業内容	・児童養護施設等の施設整備に対する補助(補助率【国】1/2、【県】1/4)							
	実施期間	不明	～	根拠法令等	社会福祉施設整備事業補助要綱、次世代育成支援対策施設整備交付金交付要綱(国)				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	・計画的な施設整備により、児童養護施設等の老朽化・狭隘化の解消と小規模ケア化を推進する。		・年度計画に沿った施設整備の達成(H20 児童養護施設1か所)			・児童養護施設1か所の整備に対し助成を行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円		41,709	121,590	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円		41,709		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円		13,903	40,531	歳出節別内訳等	・補助金:41,709 (単位:千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人		0.10	0.10			
	概算人件費 (C)		千円		715	715			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円		42,424	122,305				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	社会福祉施設等整備		箇所	0	1	1			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・児童養護施設は老朽化、狭隘化が著しい施設が多く、各施設の整備意向の把握と計画的な事業採択を進めた。 ・間接補助なので国の補助を受けるには県の関与は必須である。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・21年度以降も各施設の整備意向の把握と計画的な事業採択を行っていく必要がある。						